

きるよう支援します。

道徳教育及び人権教育を推進し、児童会・生徒会活動を通して、学校生活の向上と充実を図り、不登校児童生徒数の減少に努めます。

児童生徒のいじめ対策については、未然防止・早期発見に努め、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、学校地域・家庭が連携・協働する組織体制を確立します。

学校給食については、これまで以上に安全・安心な給食を提供するとともに、沖縄料理の献立や学校給食への関心を高める取り組みを通し、食に関する正しい知識と、望ましい食生活を身に付けさせる食育を進めます。また、保護者の負担軽減として、小学校給食費助成事業を引き続き実施します。

#### ▼地域に開かれた学校づくりの推進

学校と地域の連携・協働をより一層推進するため、学校、保護者及び地域住民が一体となって運営協議する「地域協働学校」を、令和2年度は全小中学校へ導入します。

はごろも学習センターと青少年サポーターセンターを統合し、それぞれの持つ機能を充実・発展させてまいります。

公立小学校への指導者用デジタル教科書の整備を実施するほか、ICT支援員の授業支援等により、教職員の業務を効率化し、負担軽減に努めます。

子どもやその家庭が抱える課題の改善、問題行動等の未然防止等に取り組むため、全小中学校にスクールソーシャルワーカーを配置し、学校をはじめ、臨床心理士、関係機関との支援体制を強化します。また不登校児童生徒などの居場所づくりとして、適応指導教室の充実に努めます。

学校施設の整備については、大謝小小学校屋内運動場・水泳プール増改築事業に取り組んでおり、普天間小学校校舎増改築事業も令和2年度より進めます。

防犯に対する意識の高揚と地域安全活動を推進します。

#### ▼環境保全と循環型社会の形成

更なるごみの減量化・資源化を推進し、家庭ごみの収集については、門前収集の拡充に向け、段階的に取り組めます。

また、「COOL CHOICE 賛同宣言」に基づき、環境教育講習会を実施し、地球温暖化防止及び環境保全の意識啓発活動を進めます。

#### ▼公害・環境衛生対策の推進

市民が健康で快適に暮らせる生活環境の確保のため、倉浜衛生施設組合のし尿処理施設（汚泥再生処理センター）整備事業を進め、生活排水対策を推進します。

#### ▼快適な生活環境の整備

「宜野湾市都市計画マスタープラン」の取組に組み、キャンブ瑞慶覧西普天間住宅地区跡地については、「景観形成重点地区」の指定に向け取り組めます。

健全な市街地の整備と生活環境の改善については、門前広場などの整備へ向けた建物補償などを行い、真栄原地区においては、交流施設の整備へ向けた建物補償などに加え、同施設の外周道路の実設計に取り組みます。

市民の安全・快適な住環境整備のため、住宅リフォーム支援事業を実施するほか、計画的な修繕や改修により、既存市営住宅の長寿命化を図ります。

#### ▼交通ネットワークの整備

市道宜野湾11号の早期供用を目指します。また、市道中原33号については、道路実施

▼地域活動を通じた学びの充実と文化の継承  
市民会館や中央公民館の施設保全と、機能強化に向けた改修を進め、学習支援や芸術文化、スポーツ・レクリエーション活動を推進します。

市民図書館においては、乳幼児の親子を対象とした「赤ちゃんタイム」や「おはなし会」等、ブックスタートのフォローアップを継続して行い、読書に親しむ環境づくりに努めます。

地域の文化財を紹介する「歴史・文化遺産マップ」や「地域文化財案内板」を充実させ、文化財の活用を努めます。

市立博物館においては、伊佐浜の土地闘争をテーマとしたビジュアル版を刊行し、地域アイデンティティの継承拠点として、歴史と文化を啓発します。

### 基本目標4

#### 地域資源を活かした 活力あるまち

##### ▼観光・リゾート産業の振興

本市西海岸地域のコンベンションエリアで開催される、県下最大のエンターテインメント「琉球海炎祭」をはじめ、同エリア一帯を観光客や市民が、より一層賑わい、憩える場となるよう努めます。

特産品の普及促進については、県内外への物産展等に出展する出展料等の助成を行い、商工会が行う販路開拓支援事業に対する補助など、商工業振興に努めます。

##### ▼コンベンション支援機能の充実

「沖縄21世紀ビジョン基本計画」に位置づけられている「世界水準の都市型オーシャンフロント・リゾート地の形成」を目指し、国及び沖縄県の協力連携のもと、西海岸地域が持つ特性を活かした開発に向け、検討作業を進めます。

設計を行い、道路整備及び上・下水道の整備を進め、市道喜友名23号についても、整備工事に着手します。

真栄原2丁目地内の道路整備については、市道認定及び道路実施設計を行い、普天間飛行場周辺まちづくり事業と整合を図り、事業を進めます。

市道我如古21号、嘉数1号及び伊佐1号の整備並びに真栄原3丁目地域が長年待ち望んでいた真栄原11号は、行き止まり道路を解消し、通学路や避難路として整備を進めます。また都市計画道路の3・4・71号普天間線道路整備事業も進めます。

供用中の道路や橋りょうについては、快適な道路環境の持続的な提供のため、道路修繕や橋りょうの老朽化対策など維持管理に努めます。

##### ▼上・下水道の整備

水道事業においては、「宜野湾市水道事業第11次拡張事業認可」における施設整備計画のもと、基幹管線の耐震化や老朽管の更新を計画的に進めます。

下水道事業においては、リスク評価等による優先順位付けを行い、「ストックマネジメント計画」のもと、下水道施設の適切な機能保全対策を行い、未整備地区の整備及び老朽施設の更新事業を計画的に進めます。

キャンブ瑞慶覧西普天間住宅地区跡地の整備については、上・下水道事業ともに、重点整備として計画的に進めます。

##### ▼公園・緑地及び墓園等の整備

野嵩第一公園及び比屋良川公園のほか、真下3号公園及びしちやばる公園も整備します。

海浜公園及び嘉数高台公園については、公園利用者の安全・安心を確保し、市民のスポーツ活動や文化活動の一層の充実及び利便性の向上を図られるよう再整備します。野外劇場の機能拡張については、音楽活動

本市で春季キャンプを実施している「横浜〇〇」をベースに、対しては、リニューアルした多目的運動場での練習をはじめ、より充実したキャンプ期間を過ごしていたいただき、念願の日本シリーズ優勝が果たせるよう協力するほか、県外・国外からの観光客の増大に向けたプロモーション活動を積極的に行います。

##### ▼地域商店街の活性化

地域の事業者が連携し、まちの魅力と賑わいの創出につながる商店街活動を積極的に支援するとともに、通り会の復活に努めます。

家賃補助及び空き店舗リフォーム補助により、空き店舗を活用する事業者の支援強化や、商工会と連携した専門的かつ効果的な経営支援を行い、地域特性を活かした商店街の活動推進及び新たな魅力と賑わいの創出を図ります。

##### ▼商工業・情報通信産業の振興

地元商工業者が抱える課題やニーズを的確に把握し、市内事業者の受注機会の拡大、市内中小企業勤労者の福祉の向上等、商工会と連携し、地域経済基盤の強化に取り組めます。

##### ▼企業立地と多様な働き方による就労の促進

特別養護老人ホーム愛誠園跡地の活用を図るため、企業立地検討委員会において、立地企業の選定に関し具体的な議論を進めます。

児童生徒が職業観やチャレンジ精神及び地域の愛着を育み、本市の発展に貢献できる人材を育成します。

##### ▼都市農業・漁業の振興

大山田いも栽培地域の振興については、大山土地区画整理事業と連携し、栽培農地の適切な保全を図ります。

の拠点及びファン交流拠点機能の整備に向け、基本・実施設計を進めます。  
墓園等の整備については、キャンブ瑞慶覧西普天間住宅地区跡地における公営墓地整備事業について、引き続き検討を進めます。

### 基本目標6

#### 平和をつなぎ、 未来へ発展するまち

##### ▼基地問題への対応

まちのど真ん中にある普天間飛行場は、全面返還合意から24年目を迎えるようとする今なお、返還は実現せず、市民は過重な負担を負っています。

頻発する事故の度に、市街地に囲まれた普天間飛行場が、世界一危険であり、一刻も早い返還の必要性が示されるものの、政府と沖縄県は対立を続け、返還合意の原点である「危険性除去」と「基地負担軽減」は置き去りにされたまま、解決に向けた道筋は依然として不透明な状況が続いています。

令和2年度も、政府及び沖縄県に対し、返還合意の原点を忘れることなく、普天間飛行場の返還を最優先に取り組み、返還までの間の「危険性除去」及び「基地負担軽減」の確実な実現並びに跡地利用を推進するため、返還期日を確定するよう求めてまいります。

加えて、夜間訓練や住宅地上空での旋回飛行並びに、外来機の飛来などは、危険性とともに騒音や地デジ受信障害という形で、日常的な市民生活に深刻な影響を及ぼしており、飛行ルートの遵守をはじめ、「普天間飛行場における航空機騒音規制措置の遵守を強く求めるとともに、外来機の飛行禁止、住宅防音工事の対象拡大を、国に要請します。地デジ受信障害の対策については、受信障害の被害状況を把握するとともに、対策工事の実施に向け取り組みます。

漁業の振興については、宜野湾漁港の生産力向上に資するため、国の離島漁業再生支援交付金を活用し、小規模のパヤオを実験的に敷設し、良好な漁場の探査及び販売促進活動に対する補助を実施します。

### 基本目標5

#### 安全・快適で、 持続的発展が可能なまち

##### ▼防災及び救急・消防体制の強化

市内小中学校へ防災備蓄資機材倉庫の整備を行い、備蓄食糧及び防災資機材の購入をはじめ、防災行政無線のデジタル化整備工事も継続的に取り組めます。

自主防災組織については、令和元年11月に喜友名区と、嘉数ハイツにおいて自主防災会が設立され、現在12団体となっており、自治会や自主防災組織が結成されるよう組織活動を支援します。

救急・消防体制の強化については、災害時に防災拠点となる消防署我如古出張所の改築事業を実施しており、令和3年度の完成を目指します。

年々増加する救急需要に対応するため、質の高い救急体制の維持強化に努め、市民向け応急手当普及促進や、医療機関との連携強化を図ります。

消防団については、地域防災の要として自主防災組織に対する協力支援やイベント時などの警戒活動を通じ、指導的役割を担ってまいります。

火災予防については、住宅用火災警報器の設置、取り替えなど住宅防火を推進します。

##### ▼交通安全・防犯対策の強化

交通事故のない住みよい宜野湾市を目指し、横断歩道等の交通安全施設の充実や、交通安全思想の啓発に努めます。また、犯罪発生等の抑止及び市民の安全・安心の確保並びに

##### ▼基地跡地利用の推進

普天間飛行場の跡地利用については、地権者の合意形成及び各分野の計画内容の具体化に向けた取り組みを進め、跡地利用計画（素案）の策定に向けた検討を行います。

「普天間未来基金」については、企業や全国の方々から同基金の趣旨にご賛同いただき、多くのご寄附を頂きました。普天間未来基金活用事業として、「基地跡地の未来を担う国際的な人材を育成する」ため、市内中学生の短期海外留学派遣費用へ助成します。

キャンブ瑞慶覧西普天間住宅地区跡地のまちづくりについては、地権者の合意形成を図り、土地区画整理事業により道路や公園及び宅地を整備し、「沖縄健康医療拠点」の中核となる琉球大学医学部及び同附属病院の移設に向け、琉球大学と連携して取り組めます。

##### ▼平和行政の推進

沖縄戦から75年の節目を迎える今、沖縄の風化が深刻化しております。令和2年度も平和学習派遣事業及び平和祈念事業を実施し、広く市民全般に平和の大切さを継承します。

令和2年2月27日

宜野湾市長 松川 正則

※市報掲載については、一部抜粋しております。  
令和2年度施政方針の全文については、市ホームページよりご確認ください。

市ホームページは

コチラ▼

